

登録コード	E4000900	開講年度	2026				
授業科目	教職・カリキュラム論A					担当教員	森下 孟 他
英文授業名	Introductory Fieldwork in Education					副担当	谷塚 光典
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限 火曜・3時限	対象学生	
講義室	東洋計器講義室（20番講義室） 共通教育10講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
	他者と協働して教育活動をつくる社会的スキル						
	理論と実践を往還する省察と改善の態度						
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	信州大学教育学部では、「臨床の知」をスローガンに、入学時から卒業時までのさまざまな臨床経験科目を体系的にカリキュラムに整備しつつ、体験的な学びと学問的な学びを往還する教育を重視している。これら臨床経験科目群を意義ある学びに結びつけるためには、本学部のカリキュラムの全体構造・相互関係やその意義、そこでの学び方等について学生自身がしっかりと理解し習熟しておく必要がある。「教職・カリキュラム論」は、臨床経験科目のガイダンスの役割を兼ねるとともに、学校教員をはじめとする教育の専門家を目指して入学した1年次生が、自分自身の被教育経験を振り返り、教育の重要性や教職の意義等に関して広い視野から捉え直すことを目的とする。そのために、附属松本学校園における教育活動に日常的・継続的に参加することを中心に、具体的な学びの場（教室等）における観察実習や参加実習を通して、観察者である自分のものの見方・考え方を鍛える。教職をめぐる様々な問題に視野を広げ、学校とはどんなところか（教育課程の意義と編成、カリキュラム・マネジメント）、教師の服務規程はどうなっているのか（教職の基本構造）、教師にはどんな力量が求められているのか（教職の意義及び教員の役割）、多様な専門性を持つ人材とどのように連携・分担し組織的に学校を運営しているのか（チーム学校への対応）等、子ども理解や教育に対する理解を深めた上で、自己の教育経験を相対化して教育を複眼的な視野で捉え直しつつ、学校における実習の基礎的な知識・態度を身につける。また、めざしたい教師イメージを豊かにするために、様々な教師の生き方に触れながら、学生同士が互いの教育観を交流し合う場を設定し、自分なりの「めざしたい教師像」を描くことができるようにする。						
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション（森下教員・谷塚教員） 第2回：リフレクションとは（活動記録と教職ポートフォリオ）（谷塚教員） 第3回：学校外の多様な専門家等との連携による教育活動（森下教員） 第4回：学校教育の社会的意義：「私が目指す教師像」の構築（森下教員） 第5回：授業研究における授業観察の方法と子ども理解の方法（森下教員・谷塚教員） 第6回：教育課程の意義と編成（森下教員） 第7回：教職の意義及び教員の役割・職務内容（森下教員・谷塚教員） 第8回：学校の果たす役割とチーム学校（森下教員） 第9回：附属松本学校園における教育実習参観（森下教員・谷塚教員） 第10回：教員研修の意義と学び続ける教師像：附属松本学校園での活動記録の分析（谷塚教員） 第11回：学習指導要領・幼稚園教育要領の変遷と内容（森下教員） 第12回：カリキュラム・マネジメント（森下教員） 第13回：教育評価とカリキュラム評価（谷塚教員） 第14回：リフレクション演習（発表とディスカッション）（森下教員・谷塚教員） 第15回：1年次の振り返りと2年次に向けた課題分析（森下教員・谷塚教員） 附属学校園教諭や外部講師等の都合により、第2回～第14回までの内容は順序が前後することがある。						
(6)成績評価の方法	・附属学校園での臨床経験活動において、規定単位数以上を取得した者を成績評価の対象とする（授業のねらい～） ・授業のねらい、目的、内容の到達度を測る課題と提出物（eALPS等への記入を含む）：30% ・授業のねらいの到達度を測る毎月のレポート課題と確認試験：40% ・授業のねらいの到達度を測る教職ポートフォリオ（履修カルテ）の作成と相互評価：30% 教職ポートフォリオ（履修カルテ）が作成されていない場合は単位認定ができない。 主要な課題・レポートなどの提出がない場合は、単位の認定ができない場合がある。 各授業でのディスカッションへの参加状況や受講態度などに応じて成績評価を加味する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：教職ポートフォリオ（履修カルテ）では、自己及び仲間の教育実習経験について多面的・総合的にリフレクションしており卓越している。また、附属松本学校園における臨床経験では、子どもと自主的・積極的にコミュニケーションして総合的・多面的な子ども理解に努めようとしたうえで、子どもの学びを積極的に観察しようとしている。 「かなり上である」：教職ポートフォリオ（履修カルテ）では、自己及び仲間の教育実習経験について多面的にリフレクションしておりかなり上である。また、附属松本学校園における臨床経験では、子どもと積極的にコミュニケーションして多面的な子ども理解に努めようとしたうえで、子どもの学びを積極的に観察しようとしている。						

(7)成績評価の基準	「やや上にある」：教職ポートフォリオ（履修カルテ）では、自己及び仲間の教育実習経験についてリフレクションしておりやや上にある。また、附属松本学校園における臨床経験では、子どもとコミュニケーションして子ども理解に努めようとしたうえで、子どもの学びを観察しようとしている。 「水準にある」：教職ポートフォリオ（履修カルテ）では、自己の教育実習経験についてリフレクションしており水準にある。また、附属松本学校園における臨床経験では、子どもとコミュニケーションしたうえで、子どもの学びを観察しようとしている。
(8)事前事後学習の内容	事前学習としては、eALPSにアップロードしてある各回の授業での配布物を事前にダウンロードしたり、eALPSに掲載してある関連URLからWebサイトを閲覧したりすることによって、問題意識を明確にしたうえで授業に参画する。 事後学習としては、各回の授業や臨床経験で学んだこと・疑問に思ったこと・疑問に思ったことについて調査してわかったこと等をeALPS等に記入し、学生間で共有する。また、定期的に課される課題に取り組み、eALPS等から提出する。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	・全員、1年次に必ず履修すること ・所属した学校園における教育活動への参加は、原則として、休業日（土・日・祝日、夏季・冬季・春季休業）及び学期中は講義の空き時間を利用すること（「教職・カリキュラム論」を理由として他の講義等を欠席することは認められない） ・（財）日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険・同付帯賠償責任保険に加入すること ・当該科目を履修するにあたって必要となる経費（参加費・交通費・食費・文房具代・保険料等）は学生の自己負担とする ・学校園教職員や大学教員の指導に従わず、活動を継続することが困難であると判断された場合は、活動が途中で中止となることがある ・各回の授業前後にeALPS等の学習システムにアクセスし、事前事後学習に努めたり課題を提出したりすること ・別途定める「教育臨床経験科目の受講案内」にしたがって履修などすること
(10)質問、相談への対応及び連絡先	原則として、事前にメールでアポイントメントをとってください。 森下研究室（長野（教育）キャンパス 附属次世代型学び研究開発センター2F）E-mail：morisita@shinshu-u.ac.jp 谷塚研究室（長野（教育）キャンパス 北校舎 2階N211）E-mail：yatsuka@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	・文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）』東洋館出版社，2018年，201円＋税 ・森下孟，青木一編著『教師をめざす人のための臨床経験の理論と実践：「臨床の知」が拓く教員養成課程』北大路書房，2023年，3,000円＋税 ・田中耕治編著『時代を拓いた教師たち - 戦後教育実践からのメッセージ - 』日本標準，2005年，1,800円＋税
【参考文献】	・幼稚園教育要領・中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領 ・稲垣忠・鈴木克明編著『教育の方法と技術 Ver.2：IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房，2022年，2,200円＋税 ・田中耕治編著『時代を拓いた教師たち 2 - 実践から教育を問い直す - 』日本標準，2009年，2,000円＋税 ・鈴木克明・美馬のゆり編著『学習設計マニュアル』北大路書房，2018年，2,200円＋税 ・その他，授業のなかで適宜紹介する。